

## 平成30年大鰐町議会第1回定例会一般質問通告者

順位	質問者	質問内容	答弁を求める者
1	幸山市雄 (11番)	①核、弾道ミサイルへの対応について ②公共下水道について	町長・教育長 町長
2	渡辺久一郎 (10番)	①地域包括ケアと25年問題を考えた場合の町立大鰐病院の在り方について ②学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について	町長 町長・教育長
3	成田元英 (2番)	①廃校になっている三校の、その後の使用状況について	町長
4	中島英臣 (3番)	①町はインバウンド（訪日）についてどのように考えているのか ②町民は町立大鰐病院の動向について興味津々、途中経過についてお聞きしたい ③町民は温泉利用によるロードヒーティングを期待しているが町は取り組む気持ちがあるのか ④町民からの今冬の除雪の苦情をどのように捉え、どのように対処したのか	町長 町長 町長 町長
5	成田裕一 (1番)	①デマンドバスに町内循環路線の追加検討を ②湯野川原温泉流水公園設置促進について	町長 町長

順位	質問者	質問内容	答弁を求める者
6	内海繁勝 (7番)	<p>①「町民の健康を守る大鰐病院の経営支援に全力で取り組む」、これは町長選での激戦を制し、初めて町長に就いたとき山田町長が町民に発した極めて明確な公約であり、また町長が自らに課した誓約ともいうべきであり、そうすると万難を排しこれを着実に実践すべき責任を負うのではなかろうか</p> <p>②自公の連立政権下にある政府財務省はここにきてその本性を現し、地方自治体がある積立金の「基金の残高」を指し、「地方公共団体に対する交付税の見直し」を公然と要求し、これに歩調を合わせるが如く自民党と公明党の与党からも、「地方に対する交付税を減らし、地方公共団体に対して基金の取り崩しを促すべき」と、これまた公然と主張し、地方が置かれている実情をまったく顧みず、地方を痛めつけ地方を軽視する自公連立政権の様々な愚策や政策の失敗により、地方の衰退を加速させたその意識が根底から欠如し、地方を切り捨てるが如くいまや数を嵩に傲慢な態度をあらわにする「自民党と公明党の連立政権」が押し進める政策に対して町長の思いは如何に</p> <p>③破綻寸前その瀬戸際に立たされていた大鰐町の財政をみごとに立て直しその上で多くの政策を実践し多大な成果を上げて来ており、しかし財政いまだ厳しい中、それでもなお町民のため山田町長が描き、具体性を帯びてきた政策を実行実践するためにも来る町長選を前にして、その出馬宣言について改めてその意気込みをお聞かせいただきたい</p>	町長  町長  町長